

中小企業景気動向調査レポート (調査期間:平成29年9月1日～6日)

(平成29年7月～9月実績、平成29年10～12月予想)

平成29年10月発行
西尾信用金庫
企業支援部

回答企業数

製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	合計
125	26	34	49	39	21	294

<全体の景況>

当期業況判断D.I.

	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
29/06	2.4	-11.5	-11.8	6.1	-10.3	-9.5	-2.4
29/9見込	4.1	-3.8	-8.8	4.1	-5.1	0.0	0.3
29/12予想	12.2	0.0	-9.1	14.3	-10.3	0.0	5.2

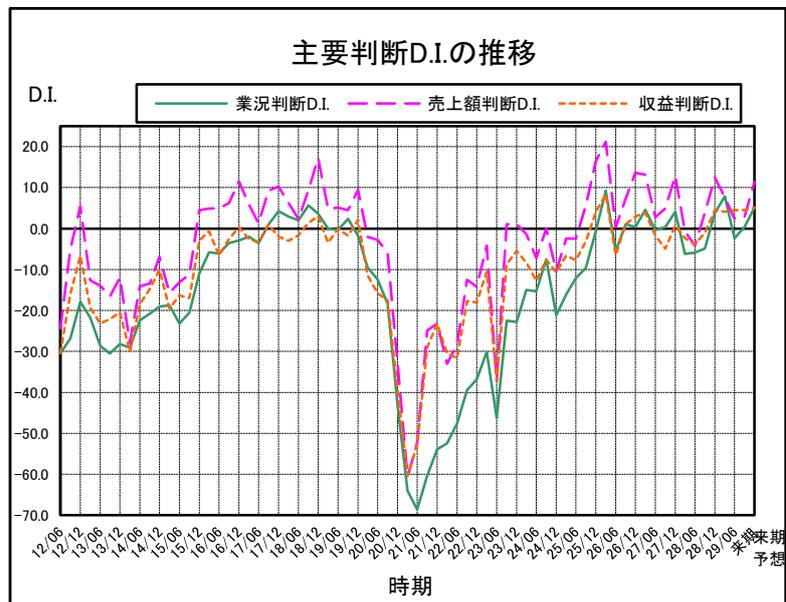
当期売上額判断D.I.

	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
29/06	9.8	-7.7	0.0	2.0	-5.1	-9.5	2.4
29/9見込	1.6	3.8	5.9	0.0	7.7	0.0	2.7
29/12予想	18.0	0.0	5.9	14.3	5.1	0.0	11.3

当期収益判断D.I.

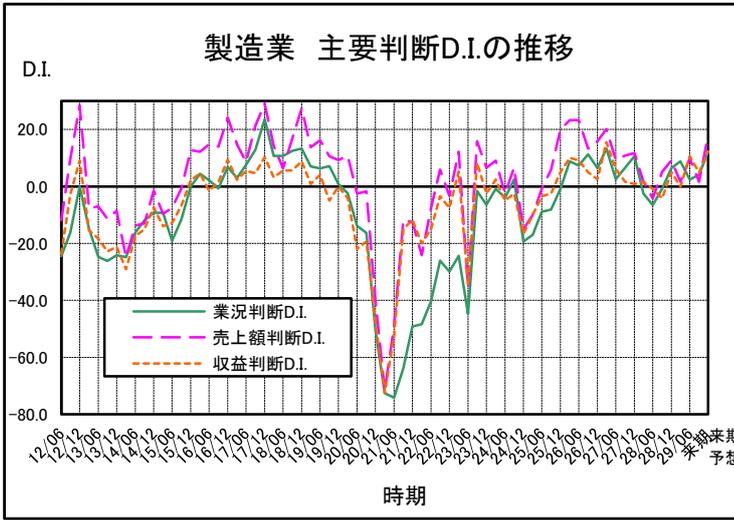
	製造業	サービス業	卸売業	建設業	小売業	不動産業	全体
29/06	10.7	-7.7	2.9	10.2	-5.1	-9.5	4.5
29/9見込	4.9	7.7	2.9	4.1	2.6	4.8	4.5
29/12予想	12.3	-3.8	5.9	0.0	0.0	-4.8	5.2

当期業況判断D.I.は0.3(前期比+2.7)と景況感はやや改善しているものの、当期売上額判断D.I.は2.7(同+0.3)、当期収益判断D.I.は4.5(同±0.0)と弱含み推移を見込む。来期については、業況判断D.I.が5.2(当期比+4.9)、売上額判断D.I.が11.3(同+8.6)、収益判断D.I.は5.2(同+0.7)と改善が予想される。衆議院議員選挙の結果や海外情勢の変化が今後景気に与える影響が注目される。



*判断D.I.は各質問事項で「増加」(上昇)したとする企業が全体に占める構成比と、「減少」(下降)したとする企業構成比を引いて求めている。

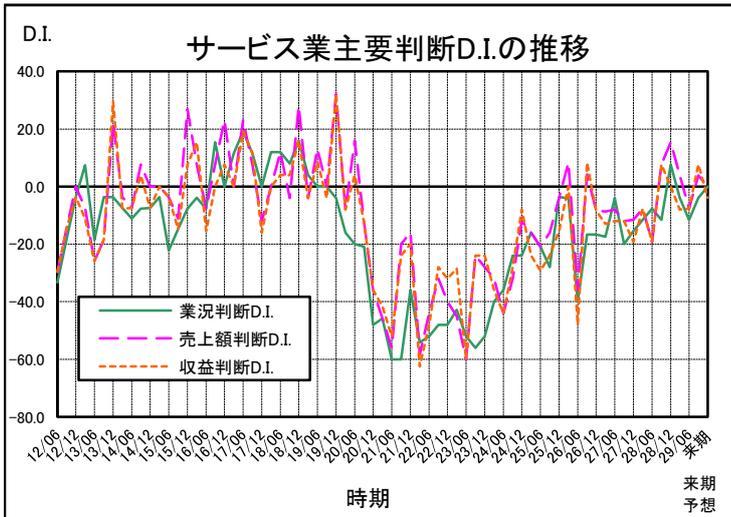
< 業種別 >



製造業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
29/06	2.4	9.8	10.7
29/9見込	4.1	1.6	4.9
29/12予想	12.2	18.0	12.3

< 製造業 >

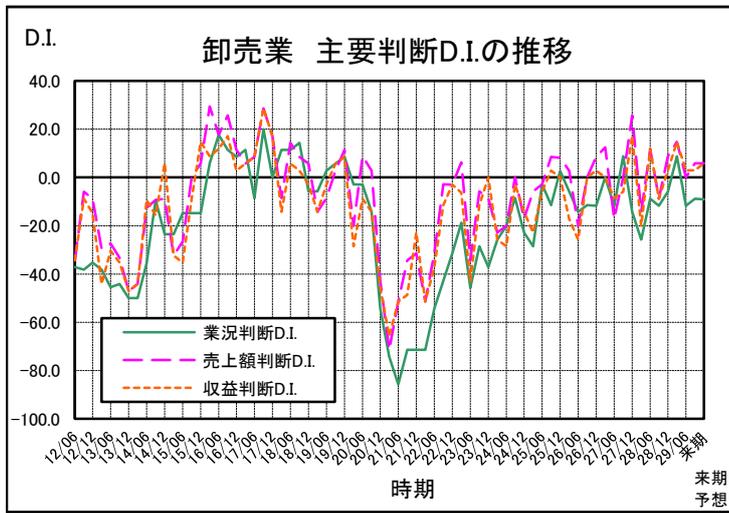
当期業況判断D.I.は4.1(前期比+1.7)と景況感はやや改善した。しかし、当期売上額判断D.I.は1.6(同-8.2)、当期収益判断D.I.は4.9(同-5.8)となった。原材料価格や運賃、人件費の高騰により業況は大幅低下が見込まれる。一方、来期については、自動車業界が堅調に推移することを背景に、業況判断D.I.は12.2(当期比+8.1)、売上額判断D.I.は18.0(同+16.4)、収益判断D.I.は12.3(同+7.4)と大幅改善が予想される。また、人出不足D.I.は▲16.4(同-6.6)となっており、人手不足が一層深刻になっている。



サービス業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
29/06	-11.5	-7.7	-7.7
29/9見込	-3.8	3.8	7.7
29/12予想	0.0	0.0	-3.8

< サービス業 >

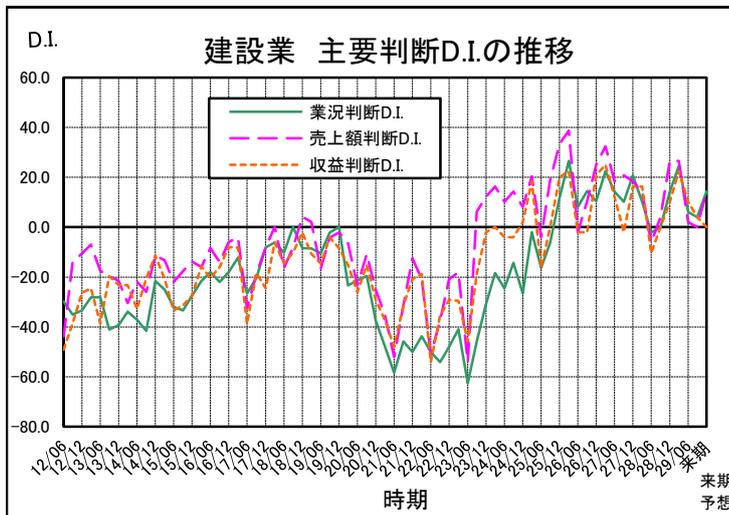
当期業況判断D.I.は▲3.8(前期比+7.7)と景況感は大幅に改善した。また当期売上額判断D.I.は3.8(同+11.5)、当期収益判断D.I.は7.7(同+15.4)と業況も大幅改善を見込む。経営上の問題点として46.2%の企業が”同業者間の競争激化”を挙げており、同業者との差別化で収益増加を目指す企業が多い。



卸売業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
29/06	-11.8	0.0	2.9
29/9見込	-8.8	5.9	2.9
29/12予想	-9.1	5.9	5.9

<卸売業>

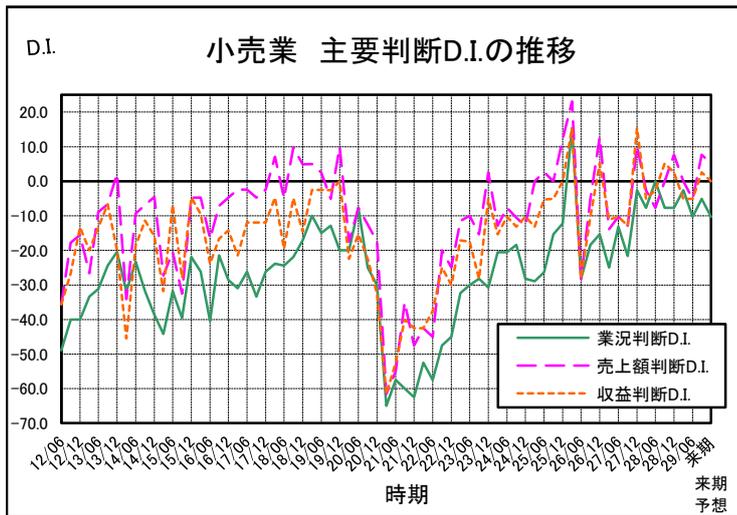
当期業況判断D.I.は▲8.8(前期比+3.0)、当期売上額判断D.I.は5.9(同+5.9)、また当期収益判断D.I.は2.9(同±0.0)と、依然として景況感はマイナスだが、経営者マインドの改善が見込まれる。一方来期は業況判断D.I.は▲9.1(当期比-0.3)、売上額判断D.I.は5.9(同±0.0)、収益判断D.I.は5.9(同+3.0)と、弱含みながらも、収益の改善が予想される。



建設業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
29/06	6.1	2.0	10.2
29/9見込	4.1	0.0	4.1
29/12予想	14.3	14.3	0.0

<建設業>

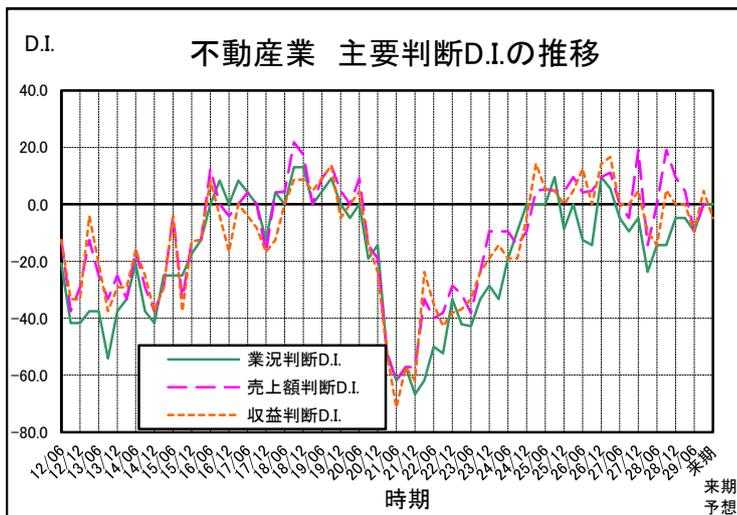
当期業況判断D.I.は4.1(前期比-2.0)、当期売上額判断D.I.は0.0(同-2.0)、また当期収益判断D.I.は4.1(同-6)と全項目で前期比マイナスとなる。一方来期は公共工事が需要期を迎えることを背景に業況判断D.I.は14.3(当期比+10.2)、売上額判断D.I.は14.3(同+14.3)、収益判断D.I.は±0.0(同-4.1)と弱含みながらも大幅改善が予想される。また、人手D.I.は▲24.5と全業種で最も低い。42.9%の企業が当面の重点経営施策として”人材を確保する”を挙げており、人材確保が引き続き課題となっている。



小売業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
29/06	-10.3	-5.1	-5.1
29/9見込	-5.1	7.7	2.6
29/12予想	-10.3	5.1	0.0

<小売業>

夏のボーナス時期を迎え、当期業況判断D.I.は▲5.1(前期比+5.2)、当期売上額判断D.I.は7.7(同+12.8)、また当期収益判断D.I.は2.6(同+7.7)と大幅改善が見込まれた。しかし、来期は一転して全項目で低下予想される。64.1%の企業が当面の重点経営施策として”経費を節減する”を挙げており、原材料価格や運賃、人件費の高騰する中でも経費を削減し、収益向上を目指す企業が多い。



不動産業	業況判断D.I.	売上額判断D.I.	収益判断D.I.
29/06	-9.5	-9.5	-9.5
29/9見込	0.0	0.0	4.8
29/12予想	0.0	0.0	-4.8

<不動産業>

当期業況判断D.I.は0.0(前期比+9.5)、当期売上額判断D.I.は0.0(前期比+9.5)、当期収益判断D.I.は4.8(同+14.3)と景況感・業況ともに大幅改善している。来期については弱含みの推移が予想されるが、66.7%の企業が当面の重点経営施策として”情報力を強化する”を挙げており、情報力強化で増収増益を目指す企業が多い。